

1 生きる意味 上田紀行

○ 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。答えはノートに書いて、写真に撮って送ること。

現代の社会では、多くの人が自分を他人と「交換可能」な存在だと感じて、自らのかけがえのなさを実感できずにいるという。こうした現状を憂う筆者は、次のように述べている。

この社会にはどこかに中心があって、自分はその中心から遠くアハナれたところに押しやられていると感じている人は多い。しかし、私は私自身の「生きる意味」を創造し、私の生きる世界に意味を与える存在なのであり、^①世界の中心は私自身にあるのだ。しかし、それは「自己チュー」の世界ではない。なぜなら、私自身が意味を生み出す中心であることをイミトめるとき、私たちの周りには私だけでなくたくさんの中心があることがわかってくるからだ。あの人もまた自分自身の「生きる意味」を生み出しながら生きているひとつの中心である。そしてまたあの人も……。

かけがえのない存在がここにいて、あそこにもいる。世界の中心がここにもあり、あそこにもある。^②私たちひとりひとりを²オリジナリティーの源泉として見るとき、世界のいたるところに「かけがえのない」オリジナリティーの中心が見えてくる。私のかけがえのなさを見いだすことは、あなたのかけがえのなさを見いだすことでもある。そしてあなたのかけがえのなさに気づくことは、私のかけがえのなさに気づくことにもなるのである。

^③そこで私たちの世界には不思議な転換が起こる。かけがえのないあなたが傷つき、苦しむとき、私は私が傷つけられたように感じる。かけがえのないあなたが喜ぶとき、私は私がことのようにうれしくなる。「かけがえのなさ」とは「交換不可能」であることだと私たちはずっと思ってきた。しかし、私たちはともに苦しみ、ともに喜ぶ存在同士なのであり、私たちの苦しみと喜びは交換可能であるのかもしれない。あなたが私の苦しみを負い、私があるの喜びに生かされているのかもしれない。そこにおいて、私たちは「交換可能」という思いに引き裂かれることからの大きな一歩を踏み出す。そして^④生きる思いを共有できることの豊かさへと開かれていく。私の「かけがえのなさ」を追い求めてきた私は、世界の「かけがえのなさ」へとエサソわれるのである。

世界にはいたるところに中心があり、その中心同士が互いを尊重しあう社会への道がそこにある。与えられた「生きる意味」を生きるのではなく、ひとりひとりが自分の人生の創造者となるよう「生きる意味」を再構築していくことは、私の尊厳とあなたの尊厳とともに回復していく歩みなのである。

そんなプロセスをあなたは理想論のA絵空事だと思うだろうか。

1 自己チュー——「自己中心的」の略。自分のことだけ考えるような態度。

2 オリジナリティーの源泉——本文では、自分自身の生き方を生み出す源(＝オリジン)ということ。

問一 傍線部ア〜エについて、カタカナは漢字で、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 波線部A「絵空事」の意味として、最も適切なものを、次から選べ。

- ア まったく意味のないこと
- イ だれも予想ができないこと
- ウ あいまいではつきりしないこと
- エ 一見正しいが誤りのあること
- オ 大きさを現実味のないこと

問三 傍線部①とあるが、筆者は、私たちひとりひとりの生きる姿を、どのようにとらえているか。その考えが端的に示された記述を、本文から二十五字で抜き出し、初めの四字を書け。

問四 傍線部②のように見ることで、私たちはどのようなことに気づくのか。二十五字以内で書け。

問五 傍線部③の「不思議な転換」により私たちはどうなるのか。次の一文の空欄を補うのに適切な語句を、本文から八字で抜き出して書け。

○あなたの思いを「」受けとめることで、他者とともにあると知り、存在の悩みをも克服していく。

問六 傍線部④とあるが、「生きる思い」として本文で挙げられている例を、二つ抜き出して書け。

問七 文章の最後に「そんなプロセスをあなたは理想論の絵空事だと思うだろうか」()で囲んだ部分とあるが、ここで筆者はどのようなことを述べているのか。『「生きる意味」』『「実現」という二つの語句を用いて、五十字以内で書け。』

問八 本文を読んだ生徒らが座談会を開いた。本文に合致しない発言を、次から一つ選べ。
ア 筆者の言うプロセスは、みんなが自分の「生きる意味」を生み出すことから始まるんだね。

イ うん。自分で意味を生み出すことは、自分が世界に意味を与える中心だっただけかな。

ウ みんながそれぞれ世界から意味を与えられて、多様な生き方をしているんだね。

エ みんながかけがえのない存在として、かけがえのない他者と生きているんだ。

オ 自分の尊厳をとり戻すことは、相手の尊厳を尊重することにもつながるんだね。